



Aflac Incorporated は 2014 年度第 3 四半期の業績を発表

2014 年度の 1 株当たり事業利益目標を確認

2015 年度の 1 株当たり事業利益成長目標を提示

2014 年度及び 2015 年度の自己株式取得目標を上方修正

2014 年度第 4 四半期現金配当を 5.4%増額

ジョージア州、コロンバス - 2014 年 10 月 28 日

Aflac Incorporated (以下、「当社」)は本日、2014 年度第 3 四半期の業績を以下のとおり発表しました。

当四半期の収益合計は、円安ドル高を反映して、前年同期の 59 億ドルから 2.5%減少し、57 億ドルとなりました。当期純利益は、前年同期の 7 億 200 万ドル(希薄化後 1 株当たり 1.50ドル)から 7 億 600 万ドル(同 1.56ドル)となりました。

前年同期の当期純利益には 1,500 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.03ドル)の税引後資産運用実現益(実現損とのネット)が含まれていたのに対し、当四半期の当期純利益には、400 万ドル(同 0.01ドル)の税引後資産運用実現益(実現損とのネット)が含まれていました。当四半期の有価証券取引による税引後資産運用実現益は 2,100 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.05ドル)でした。当四半期の日本社の一部のドル建て投資に関連するヘッジ費用は、税引後ベースで 100 万ドルと、希薄化後 1 株当たりではほぼゼロでした。当四半期のその他のデリバティブ及びヘッジ活動による税引後資産運用実現損(実現益とのネット)は 1,600 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.04ドル)でし

た。これらに加えて、当期純利益には、その他及び非経常的損益からの 1,700 万ドル (希薄化後 1 株当たり 0.04ドル)の益が含まれています。

当社は、当社事業に収益をもたらす諸要素について理解するために、事業利益(米国会計基準 GAAP 外の指標)の分析が極めて重要であると考えています。事業利益とは、有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じた資産運用実現損益ならびにその他及び非経常的損益を除外し、社債等に関連した支払金利を含む、当社事業から得られる利益です。当社のデリバティブ活動は、主として当社の運用ポートフォリオに係る為替リスク及び金利リスクをヘッジすることを目的としたものであるとともに、一部の社債の返済に係る為替リスク及び将来の円建ての予測キャッシュフローに係る為替リスクの一部を管理することを目的としています。有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じる資産運用実現損益ならびにその他及び非経常的損益は、全般的な経済情勢など外部環境が大きく影響すること、あるいは当社の保険事業に直接関係しない数少ない取引に関連するものであることから、当社保険事業の基盤や傾向を必ずしも正確に反映していないため、当社では、保険事業の財務業績を評価するにあたっては事業利益を用いています。

さらに、アフラックの事業全体に占める日本社の割合が非常に大きいため、日本の機能通貨である円から米ドルへの換算が事業利益に与える影響を理解することも同様に重要であると考えています。当社は、日本社の損益計算書の作成にあたっては、当該期間の平均円/ドル為替レートを、また貸借対照表の作成にあたっては、期末の円/ドル為替レートを、それぞれ使用していますが、利益送金及び日本社のドル建て投資プログラム等を除いて、実際に円貨をドル貨に換金することはありません。したがって、当社は、外貨の換算は、当社や株主に対して実際に経済的な意味を持つものというより、むしろ財務諸表作成の目的に利用するものと考えています。また、為替変動によっては当社事業の成長率が歪められてしまうため、当社は、財務諸表を使って当社事業を評価する場合、為替変動の影響を除外すべきであると考えています。本リリースの最後に、為替変動の影響を含めた場合とそれを除外した場合の主な業績数値の比較表を、その影響を示すために掲載していますので、ご参照ください。

当四半期の平均円／ドル為替レートは、前年同期の98.93円から4.8%円安ドル高の103.92円となりました。年初来9ヶ月間の平均円／ドル為替レートは、前年同期の96.61円から6.1%円安ドル高の102.89円となりました。当四半期及び年初来9ヶ月間のドルベースの日本社の成長率は、円安ドル高により、圧迫されました。

当四半期の事業利益は、前年同期の6億8,700万ドルから、6億8,500万ドルとなりました。希薄化後1株当たり事業利益は前年同期の1.47ドルから2.7%増加し、1.51ドルとなりました。為替レートが円安ドル高に推移したことで、当四半期の希薄化後1株当たり事業利益は、0.04ドル減少しました。円安ドル高の影響を除いた希薄化後1株当たり事業利益は、5.4%増加しました。

年初来9ヶ月間の業績も、円安ドル高により圧迫されました。収益合計は前年同期の181億ドルから5.1%減少し172億ドルとなりました。当期純利益は前年同期の25億ドルから22億ドルに、希薄化後1株当たり当期純利益は5.31ドルから4.93ドルとなりました。一方、年初来9ヶ月間の事業利益は、前年同期と同額の22億ドルに、希薄化後1株当たり事業利益は前年同期の4.78ドルから4.86ドルとなりました。円安ドル高による、希薄化後1株当たりのマイナスの影響0.18ドルを除くと、年初来9ヶ月間の希薄化後1株当たり事業利益は5.4%増加しました。

運用資産及び現金・預金合計は、2014年9月30日現在では1,147億ドルとなり、2014年6月30日現在から変動ありません。

当四半期、当社は1億7,500万ドル相当(290万株)の自己株式を取得しました。その結果、年初来9ヶ月間の自己株式の取得は合計で6億9,000万ドル相当(1,110万株)となりました。2014年9月30日現在、当社の自己株式取得承認枠は、3,810万株となっています。

株主持分は、2014年6月30日現在が176億ドル(1株当たり38.76ドル)であったのに対し、2014年9月30日現在では179億ドル(1株当たり39.63ドル)でした。株主持分に含まれる保有有価証券及びデリバティブに係る未実現損益(ネット)は、2014

年6月30日現在が29億ドルの益であったのに対して、2014年9月30日現在では34億ドルの益でした。当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年率換算で15.9%でした。事業ベース(当期純利益に含まれる資産運用実現損益(ネット)及び株主持分に含まれる運用資産及びデリバティブに係る未実現損益を除く)で見ると、当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年率換算で18.8%でした。また、円安ドル高の影響を除くと、20.8%でした。

## 日本社

当四半期、円ベースで見ると、保険料収入は0.7%減少しました。この減少は、2013年度に実行した再保険による保険料収入減少の影響に加え、2013年度及び本年の販売が弱含みであったことの影響を受けています。再保険による影響を除いた保険料収入は約1%増加していたこととなります。投資収益(ネット)は7.8%増加しました。当四半期の日本社の投資収益の約46%がドル建てであったことから、日本社の円ベースの投資収益の伸びは、円安ドル高の影響によって押し上げられました。前年同期は投資収益の45%がドル建てでした。当四半期の日本社の収益合計は、前年同期に比べて0.6%増加しました。当四半期の税引前事業利益率は、前年同期の19.2%から19.6%へと上昇しました。円ベースの税引前事業利益は報告ベースで2.8%増加しましたが、為替変動の影響を除けば、0.9%の増加でした。一方、年初来9ヶ月間の円ベースの保険料収入は0.1%、投資収益(ネット)は8.2%、収益合計は1.2%、税引前事業利益は3.1%それぞれ増加しました。

当四半期の日本社のドルベースでの成長率は、円安ドル高の影響により、押し下げられました。当四半期の保険料収入は5.4%減少し、35億ドルとなりました。投資収益(ネット)は2.7%増加し、6億7,600万ドルとなりました。収益合計は4.2%減少し、42億ドルに、税引前事業利益は2.1%減少し、8億2,800万ドルとなりました。年初来9ヶ月間の保険料収入は6.0%減少し、107億ドルとなりました。投資収益(ネット)は1.6%増加し20億ドルとなりました。収益合計は5.0%減少し127億ドルに、税引前事業利益は3.1%減少し、27億ドルとなりました。

当四半期の新契約年換算保険料は20.8%減の256億円(2億4,700万ドル)となりました。当四半期のがん保険と医療保険を含む第三分野商品の販売は、12.6%減少しました。主として第一分野商品である「WAYS」の販売が引き続き減少したため、金融機関窓販は42.7%減少しました。

年初来9ヶ月間の新契約年換算保険料は30.3%減少して812億円(7億8,900万ドル)となりました。第三分野商品の販売は、2.8%減少しました。

## 米国社

当四半期の米国社の保険料収入は1.1%増加し、13億ドルに、投資収益(ネット)は1.6%増加して1億6,200万ドルとなりました。収益合計は1.0%増の15億ドルとなりました。税引前事業利益率は、前年同期の18.5%から18.4%に低下しました。当四半期の税引前事業利益は0.3%増の2億6,900万ドルとなりました。年初来9ヶ月間の収益合計は1.2%増の44億ドルに、保険料収入は1.1%増の39億ドルとなりました。投資収益(ネット)は2.2%増加して4億8,400万ドルとなりました。税引前事業利益は、前年同期比4.7%増の8億7,200万ドルとなりました。

当四半期の米国社の新契約年換算保険料は、0.6%減少し、3億2,800万ドルとなりました。年初来9ヶ月間の新契約年換算保険料は4.5%減少して9億7,900万ドルとなりました。

## 現金配当

取締役会は、2014年度第4四半期支払いの現金配当を5.4%増額し、1株当たり0.39ドルとしました。この現金配当は、2014年11月19日の営業終了時点の登録株主に対し、2014年12月1日に支払われます。

## 今後の見通し

当四半期の業績について、当社会長兼最高経営責任者であるダニエル・P・エイモスは次のように述べています。

「当四半期及び年初来 9 ヶ月間の全般的な財務業績については、喜ばしく思っています。当社において最大の利益貢献をしている日本社は、当四半期、堅調な財務業績を挙げました。当社は当四半期、日本におけるすべての販売チャネルにおいて、「新 生きるためのがん保険 Days」の販売を成功裏に開始しました。さらに、予想通り、郵便局での販売を、徐々にではありますが着実に伸展させています。まだ第4四半期の早い段階ですが、日本郵政による販売は、10月1日に発売した専用のがん保険新商品と、3,000局から10,000局への取扱い郵便局拡大によって、恩恵を受けるものと期待しています。第3四半期においては、予想通り第三分野商品の販売が減少しましたが、日本社の通年の第三分野商品の販売成長率は、前年比2%から7%増の期待値の下限となるものと、引き続き確信しています。」

「財務的な観点からは、米国社も引き続き、当四半期に良好な実績を挙げました。米国社の販売体制の改編が短期的な業績に悪影響を及ぼすことも予想していましたが、当四半期における前年同期比ほぼ横ばいの販売結果は、好転の方向にあることを示しており、喜ばしく思っています。しかし、これが本当の転換点になっているかどうかについては、持続可能な販売成長の確認を待ちたいと思います。そのために当社は、新たなビジネスを成長させるべく、販売チャネル強化のための施策の実行に、引き続き注力して行きます。年初来9ヶ月間の販売実績に基づき、当社は、米国社の通年の販売は、前年比2%減から4%減となるものと見ており、これは第2四半期の公表時に申し上げた見通しよりも好転しています。」

「当社は、ご契約者と社債保有者の皆様のために、強固な自己資本比率を維持することに引き続きコミットしています。米国法定会計基準の財務諸表はまだ完成していませんが、当四半期末の当社のリスク調整後自己資本比率(RBC比率)は775%を超えているものと推計しています。また、当四半期末の日本社のソルベンシー・マージン比率については、750%を超えているものと見ています。当社は現在、内部統制のプロセスの完了を条件に、日本から米国への資本の移動の頻度を上げる可能性を探っ

ています。その結果、9月30日現在のソルベンシー・マージン比率の計算には、日本社からの追加の利益送金相当分を反映しています。第3四半期末のソルベンシー・マージン比率見込みが、2014年6月30日現在よりも低くなっているのは、この利益送金相当分によるものです。」

「資本政策の一環として、当社は10月1日に、再保険契約を締結しました。これは、2013年9月に実行した再保険と類似のものです。この取引により、日本社の規制上の準備金は約550億円減少することになります。当社の強固な自己資本は、2014年度における自己株式取得目標を、当初の10億ドル相当から12億ドル相当に引き上げること確かなものとしています。また、現在の計画では、2015年度に13億ドルの自己株式を取得する予定です。私はまた、取締役会が2014年第4四半期における四半期現金配当を、5.4%増加させる決定をしたことを喜ばしく思います。これにより当社は、現金配当を32年連続で増配することとなります。当社は一般的に、為替変動の影響を除いた事業利益の増加率に合わせて現金配当を増額することを目標としています。」

「従前より申し上げておりますが、当社は第4四半期において、日本社におけるインフラ及び米国社における販売体制の改編に関連する経費増を見込んでいます。これらを総合し、当社は引き続き、為替変動の影響を除く2014年通年の希薄化後1株当たり事業利益が3%から4%の間で増加するものと考えています。もし当社がこれを達成し、本年第4四半期における平均為替レートが1ドル105円から110円の間であった場合、第4四半期の報告ベースの希薄化後1株当たり事業利益は1.28ドルから1.37ドルの間になるものと予想しています。これと同じ前提で、当社は、2014年通年の希薄化後1株当たり事業利益が6.14ドルから6.23ドルの間になるものと予想しています。」

「当社は2015年度の事業及び成長機会を検討し、2015年度の希薄化後1株当たり事業利益成長率の目標値を、為替変動の影響を除いて、2%から7%とすることといたします。このレンジは、日米両国における事業の安定性、両国の市場における継続的な販売成長の機会、及び株主の利益となるよう資本を利用できる当社の能力を反

映したものです。」

## アフラックについて

当社は、ご契約者が病気または怪我をした時に現金を迅速にお支払いします。60 年近くにわたって、当社の商品は、ご契約者が経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。当社は米国では職域における任意加入保険販売 No.1 の会社で、日本では個人保険の保有契約件数で第 1 位の生命保険会社です。当社の個人保険及び団体保険は、世界で 5,000 万人以上の方々に保障を提供し、お役立っていただいています。『Ethisphere』誌は 8 年連続で当社を「世界で最も倫理観の高い企業」の 1 社に選出しています。また、2014 年、『フォーチュン』誌は当社を 16 年連続で「全米で最も働きがいのある企業 100 社」に選出するとともに、13 回目となる「世界で最も賞賛すべき企業」の 1 社にも選出、当社を生命保険及び医療保険分野で第 1 位にランクしました。Aflac Incorporated はフォーチュン 500 社に入っており、ティッカー・シンボル AFL としてニューヨーク証券取引所に上場しています。当社に関するさらに詳しい情報は [aflac.com](http://aflac.com) 又は [espanol.aflac.com](http://espanol.aflac.com) をご覧ください。

当四半期の業績数値の補足資料 (FAB Supplement) は、[aflac.com](http://aflac.com) 「Investors」ページから入手可能です。

当社は当四半期業績報告の電話会議の様子を 2014 年 10 月 29 日 (水曜日) 午前 9 時 00 分 (米国東部夏時間) に [aflac.com](http://aflac.com) 「Investors」ページ上で公開します。



## Aflac Incorporated およびその子会社連結損益計算書(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数および1株当たりの数字を除く—無監査)

### 9月30日に終了した3ヶ月間:

	2014年	2013年	増減率
収益合計	5,736	5,886	-2.5%
保険金給付金	3,355	3,485	-3.7%
新契約費及び事業費合計	1,307	1,332	-1.9%
税引前当期純利益	1,074	1,069	0.6%
法人税等	368	367	
当期純利益	706	702	0.5%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.56	1.51	3.3%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.56	1.50	4.0%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	451,246	464,324	-2.8%
希薄化後	453,981	467,391	-2.9%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.37	0.35	5.7%

## Aflac Incorporated およびその子会社連結損益計算書(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数および1株当たりの数字を除く—無監査)

### 9月30日に終了した9ヶ月間:

	2014年	2013年	増減率
収益合計	17,214	18,138	-5.1%
保険金給付金	9,868	10,417	-5.3%
新契約費及び事業費合計	3,930	3,933	-0.1%
税引前当期純利益	3,416	3,788	-9.8%
法人税等	1,168	1,305	
当期純利益	2,248	2,483	-9.5%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	4.96	5.34	-7.1%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	4.93	5.31	-7.2%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	452,833	465,325	-2.7%
希薄化後	455,674	468,052	-2.6%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	1.11	1.05	5.7%

## Aflac Incorporated およびその子会社連結貸借対照表(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数を除く—無監査)

### 9月30日現在:

	2014年	2013年	増減率
資産:			
運用資産および現金・預金	114,691	106,712	7.5%
繰延新契約費	8,713	9,173	-5.0%
その他の資産	3,849	4,033	-4.6%
資産合計	127,253	119,918	6.1%
負債および株主持分:			
保険契約準備金	90,200	93,937	-4.0%
社債等	4,558	4,953	-8.0%
その他の負債	14,642	6,370	129.9%
株主持分	17,853	14,658	21.8%
負債および株主持分合計	127,253	119,918	6.1%
期末発行済普通株式数(単位:千株)	450,499	465,710	-3.3%

## 事業利益と当期純利益の調整

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

### 9月30日に終了した3ヶ月間:

	2014年	2013年	増減率
事業利益	685	687	-0.5%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	21	41	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-1	-4	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	-16	-22	
その他及び非経常的(損)益	17	-	
当期純利益	706	702	0.5%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	1.51	1.47	2.7%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	0.05	0.09	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-	-0.01	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	-0.04	-0.05	
その他及び非経常的(損)益	0.04	-	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.56	1.50	4.0%

## 事業利益と当期純利益の調整

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

### 9月30日に終了した9ヶ月間:

	2014年	2013年	増減率
事業利益	2,216	2,236	-0.9%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	91	138	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-23	-12	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	-40	121	
その他及び非経常的(損)益	4	-	
当期純利益	2,248	2,483	-9.5%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	4.86	4.78	1.7%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	0.20	0.30	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-0.05	-0.03	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	-0.09	0.26	
その他及び非経常的(損)益	0.01	-	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	4.93	5.31	-7.2%

**為替変動の業績への影響<sup>1</sup>**  
(主要項目の前年同期比増減率—無監査)

**2014年9月30日に終了した3ヶ月間:**

	<b><u>為替変動の 影響を含む</u></b>	<b><u>為替変動の 影響を除く<sup>2</sup></u></b>
保険料収入	-3.7%	-%
投資収益(ネット)	2.4%	4.7%
保険金給付金および事業費合計	-3.2%	0.5%
事業利益	-0.5%	2.2%
希薄化後1株当たり事業利益	2.7%	5.4%

<sup>1</sup>数値は本リリースにおいて定義した事業利益ベースで表示している。

<sup>2</sup>為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートを用いて算出した。

**為替変動の業績への影響<sup>1</sup>**  
(主要項目の前年同期比増減率—無監査)

2014年9月30日に終了した9ヶ月間:

	<u>為替変動の 影響を含む</u>	<u>為替変動の 影響を除く<sup>2</sup></u>
保険料収入	-4.2%	0.4%
投資収益(ネット)	1.8%	4.7%
保険金給付金および事業費合計	-3.9%	0.7%
事業利益	-0.9%	2.7%
希薄化後1株当たり事業利益	1.7%	5.4%

<sup>1</sup>数値は本リリースにおいて定義した事業利益ベースで表示している。

<sup>2</sup>為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートを用いて算出した。

## 2014年度1株当たり事業利益予想

<u>円/ドル平均為替レート</u>	<u>1株当たり年間事業利益</u>	<u>対2013年度増加率</u>	<u>為替の影響</u>
95	\$6.40 - \$6.58	3.6% - 6.5%	\$ 0.09
97.54*	\$6.31 - \$6.49	2.1% - 5.0%	\$ -
100	\$6.22 - \$6.40	0.6% - 3.6%	\$ -0.09
105	\$6.06 - \$6.24	-1.9% - 1.0%	\$ -0.25
110	\$5.91 - \$6.09	-4.4% - -1.5%	\$ -0.40

\*実際の2013年度の年間加重平均為替レート